

地域に密着した防災への取り組み ～第8回住吉フェスタ～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

「第8回住吉フェスタ」において、阪神大水害（昭和13年）などの被害写真パネルと、六甲山地での砂防事業の取り組みについてのパネル展示を行いました。

概要

日時：平成26年10月25日（土）
10:00～16:00

場所：住吉公園グランド

主催：住吉フェスタ実行委員会



○阪神大水害（昭和13年）住吉川周辺の被害写真パネルを展示

六甲砂防事務所に程近い住吉公園グランドで「第8回住吉フェスタ」が開催され、住吉川流域でも土砂災害が発生する可能性があることを知っていただくため、昭和13年に起こった阪神大水害の被害写真パネルの展示などを行いました。

パネル展示をご覧になられた方は、身近なJR神戸線や住吉小学校の被害の様子に驚かれていました。住吉小学校出身の方からは、「小学校の校長室にも被害の様子のパネルが飾られていたことを思い出した」との話も聞かれ、みなさん土砂災害に注意することの重要性を感じられたようでした。

また、昭和42年の7月豪雨時に住吉川の上流で土石流をくい止めた五助えん堤の写真パネルや、兵庫県南部地震をきっかけに始まった六甲山系グリーンベルト整備事業の説明パネルなども展示し、防災・減災の取り組みの大切さをお伝えしました。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

